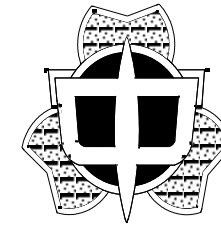


心、れあい

尼崎市立南武庫之荘中学校新聞
令和 5年 10月号
第 6 / 258号 Tel.6436-2241
<http://www.ama-net.ed.jp/school/j17>
文責：毛登山 一郎

〈校訓〉
*考える人になろう
*助け合う人になろう
*たくましい人になろう



「あいさつ 日本一」
あ 明るく
い いつでも
さ さわやかに
つ 続ける

トライやるお疲れさまでした。

9月11日～15日の1週間、本校2年生のトライやるウィークでした。このトライやるウィークは平成10年から始まりました。当時、阪神淡路大震災や中学生が引き起こす悲惨な事件がありました。そこで全国に先駆けて、兵庫県が下記二つの目的を持ち始めたものです。

- ① 中学生が職場体験、福祉体験、勤労生産活動など、地域での様々な体験活動を通じて、働くことの意義、楽しさを実感したり、社会の一員としての自覚を高めるなど、生徒一人一人が自分の生き方を見つけられるよう支援すること。
- ② 「トライやる・ウィーク」への取組を通じて学校・家庭・地域社会の連携を深め、社会全体で子どもたちの人間形成や社会的自立の支援を行うことで、子どもたちを中心とした地域コミュニティの構築へと発展すること。

学校という狭い社会の中で、勉強するだけでなく学校外の広い社会に出て、学校ではできない社会体験と社会学習をしようというものです。

2年生のみなさんは、毎日、意気揚々と事業所へ出勤し、目を輝かせながら帰宅の途についていました。「校長先生、毎日の作業は大変ですが、本当に楽しく勉強になります。このようないい経験をさせてくれて、ありがとうございます。」ある生徒のこの言葉が印象的でした。この行事を通じてひとまわり大きくなった2年生のみなさん、事業所の



方々、保護者の方々、先生方へ感謝の気持ちを持ちながら次のステップへ向かってください。

平和学習

武庫地域振興センターの協力を得て、8月末に体育館において「ヒロシマ・ナガサキ・原爆と人間」と称して、写真展が開かれました。

多くの写真や資料のパネルが体育館の側壁に展示され、とても暑い体育館内でしたが、生徒たちは真剣な表情で



食い入るように見学していました。良い平和学習の機会となりました。たった一発の爆弾で一瞬のうちに、多数の命を奪う恐ろしい兵器である原爆です。また、ご存じの通り



一命を取り留めたとしても、放射能や火傷により一生涯苦しめられながら生きていかななくてはなりません。このような悲惨な核兵器が現在でも地球上には1万発以上存在しています。核戦争が始まれば勝者はいません。地球が減びるだけです。人間同士が殺し合う戦争は人類で最も愚かなことです。地球上で唯一の被爆国である日本が世界をリードしながら、平和を願い、平和を守る決意を持ち、実践していきましょう。

(生徒からの感想)

私が一番心に残っているのが、「お母さんを返せ、お父さんを返せ、子供を返せ、平和を返せ」というパネルを見て、確かにみんなが思う言葉を書いていて、それに私は刺激を受けました。原爆に巻き込まれて亡くなる人がこれ以上多くならないように、戦争がなくなってほしいと思いました。

地域内の秋祭り

10月13日(金)～15日(日)にかけて、南武庫之荘地域人権交流秋祭り、及び堂松北人権フェスティバル文化交流展が開催されました。双方のお祭りとも、本校の生徒たちの素晴らしい作品が多数展示されました。また、地域に愛され、地域とともに生きる本校のエンターテイナー吹奏楽部がバラエティに富んだ数々の楽曲を披露してくれました。舞台発表すべてにわたり本校放送部が司会とアナウンスもしてくれました。場内は大変盛り上がりしました。力作展示作品を作成してくれた生徒のみなさん、吹奏楽部のみなさん、お疲れさまでした。ありがとうございました。



文化発表会がんばってください!

さあ、生徒のみなさん、いよいよ、楽しみにしていた、合唱コンクール、文化発表会が始まります。今まで、仲間たちと、喜怒哀楽をともにしながら、少しでも良い合唱や演技ができるように精一杯取り組んできました。当日の生徒のみなさんの最高のパフォーマンスに期待しています。大いに楽しみましょう!